

練二通信

No. 418
令和4年1月31日
練馬第二小学校
校長 濱中 一

生き生きと学び続ける子供を 六年間かけて育む

校長 濱中 一

一月二十一日、練馬第二小学校は、練馬区教育課題研究指定校として、二年間の研究成果を報告する研究発表会を行いました。当日は、全学級で算数授業を行い、子供たちは生き生きと学習する姿を見せてくれました。感染症拡大状況より、保護者の皆様、地域の皆様には残念ながら公開をすることができず、申し訳ありませんでした。これまでご理解ご協力くださった保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございます。

この四月より、高等学校の新学習指導要領が実施されます。国語科では「現代の国語」「言語文化」が必修科目、「現代文」がなくなり「論理国語」「文学国語」(他二科目)が選択となります。これまで文学作品のよさを味わうことが中心であった高等学校の国語科においても、文学作品の読解は重点でなくなり、論理的な思考が必要とされること

一方、解説書や説明書などの「実用的な文章を読む力」が、年々低下していると言われております。実生活に必要な読解力は、小中学校において十分に身に付けなければなりません。実際、昨今の公立高校入試問題は、実用的な文章の読解が中心です。また、今回の学習指導要領は、高校生にも「話す力」を求めています。本来であれば、「話す力・聞く力」は小中学校で十分につけておくべきです。小中学校で「実用的な文章を読む力」「話す力・聞く力」を十分に身に付け、高校では論理的な思考力を養成する深い内容の文章読解を行うのです。

それでは、小学校の国語学習で必要なことは何か。①説明文など実用的な文章を正しく読み取る力を身に付けること。②物語文や文学作品の世界観に触れながらも、しっかりと場面をイメージ出来る読解力を身に付けること。③考えたことを整理して書くこと。④その上で、読書をたっぷり行い、物語

の世界にどっぷりとつかること。これらの力を国語で身に付けると同時に、さらに他教科、他領域において、論理的思考の初歩を体験させる必要があるのです。

子供が論理的に学ぶということは、教師も論理的に教えるための指導技術を蓄積する必要があります。今回の算数科研究では、論理的思考の基礎となる「見方・考え方を働かせながら学ぶ」体験を子供たちはたくさん味わいました。教師は、日々教材研究を重ね、子供たちの言葉をつむいで「見方・考え方を働かせる授業を実践しました。今回の練二小の研究教科は算数でしたが、今日の授業で学んだ「見方・考え方を明日の授業での学び、他の単元での学びに繋げられる子供、他教科他領域、そして日常生活にも広げられるような子供、主体的に学び続ける子供」を、六年間の教育課程の中で育てていきたいと考えています。

研究発表会は終わりましたが、練二小はこれからも生き生きと学び続ける子供たちの姿を追究し続けます。保護者の皆様、地域の皆様と共に子供たちを育んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。

二月の行事予定

- 8 (火) 新一年生入学説明会
- 9 (水) 午前授業
- 10 (木) マラソン月間終
- 11 (祝) 建国記念の日
- 12 (土) 土曜授業(公開なし)
- 13 (日) 連合書きぞめ・図工展終
- 14 (月) 午前授業
- 15 (火) 保護者会(五、六年)
- 17 (木) 保護者会(三、四年)
- 18 (金) お別れスポーツ大会(五、六年)
- 21 (月) PTA総会
- 22 (火) 保護者会(一、二年)
- 23 (祝) 天皇誕生日
- 24 (木) 六年生を送る会
- 25 (金) 卒業を祝う会
- 28 (月) 委員会活動



※行事は新型コロナウイルスの感染状況により、変更または中止となる場合があります。

始業式・一月の朝会より

○一月八日は学校の元日。今年頑張ることを改めて心に決めよう。決めたことは、一年間継続して頑張ろう。

○一年を二十四の季節に分けた『二十四節気』。寒の始まりが「寒の入り」、「小寒」から一年で一番寒い「大寒」、節分までの時期をまとめて「寒(かん)」。

寒い時期だが、元気に運動し、明るくあいさつをしよう。

○感染症が拡大している。学校では「換気」「マスク」「手洗い」「距離」、これまで同様しっかりと対策をしよう。

○算数の研究発表会。どの学年も、どの学級も、熱心に学習していた。「楽しかった」「またやりたい」「次はこういう考え方をしたい」と感じた人がいっぱいいたと思う。勉強は楽しい。学ぶ楽しさをこれからもたくさん味わおう。

★今月の生活目標

- ・ じょうぶな体をつくろう。
- ★週の生活目標
- ・ 上着をぬいで遊ぶ。
- ・ 寒さにまげず元気に遊ぶ。

挨拶運動・川柳大会

生活指導部

毎年、一月下旬に全校児童で「あいさつ運動・川柳大会」に取り組んでいます。今年度は、代表委員会の「あいさつ運動」とともに、十二月下旬に行いました。

「きたえ国語」の時間に一年生から六年生まで、全校児童が担任とともに取り組み、廊下や階段の掲示板上に掲示してあります。

あいさつは、人の心と心をつなぐ上でとても大切なことです。日々の指導に加えて、年一回「あいさつ運動」として取り組み、「気持ちのよいあいさつをしよう」という意欲を喚起したり、「あいさつの大切さ」を考えたりする機会にしています。

「川柳」は難しいところもあります。が、「五・七・五」のリズムを楽しんで、「あいさつへの思い」を表現してほしいと考えています。

子供たちが精一杯考えて取り組む「川柳」では、毎年素敵な作品が生まれています。その中から、優秀賞に選ばれた作品を紹介します。連合書きぞめ展・連合図工展の作品とともに、二月中旬まで会議室に展示しますので、ご来校の折には、ぜひご覧ください。

挨拶川柳優秀賞作品

【一年生】

- ・ありがとう この町いっぱい たのしいな
- ・おはようと からだもハートも ぼっかぼか
- ・あいさつを すればあいても すきになる

【二年生】

- ・あいさつは みんなえがおに できるかぎ
- ・毎日を 楽しくしよう あいさつで
- ・おはようと 言えばみんなと なかよしに

【三年生】

- ・ありがとう 自分も相手も うれしいな
- ・あいさつは みんなのえ顔の 元になる
- ・あいさつは えがおひろげる おまじない

【四年生】

- ・おはようと 心がおどる 朝の風
- ・友達を ごめんなさいで 助け合う
- ・あいさつで 心のとびらの かぎがあく

【五年生】

- ・あいさつは 心のきずの ばんそうこう
- ・あいさつは 人の心の 原動力
- ・あいさつが 毎日飛びかう 練二小

【六年生】

- ・あいさつは 国境こえて 世界へと
- ・寒い日に あいさつすれば 温まる
- ・こんにちは 結ばれていく 地域の輪

マラソン月間について

体育的行事部

一年の中で一番冷えると言われるこの時季。この期間に運動する機会を確保するために、練二小では一月二十日から二月十日までをマラソン月間としています。

しかし、昨今の状況を鑑み、例年のような休み時間を利用した全校一斉での活動は行いません。各クラスの外体育の時間にトラックを走るなど、感染対策を講じたうえで活動にいたします。

子供たちの体力向上のため、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

研究発表を終えて

研究主任

一月二十一日(金)に「主体的に学び続ける子供の育成」を研究主題に、本校にて研究発表会を行いました。

算数科を中心に令和二年度より二年間、子供たちが学習に対して主体的に取り組むために、どのように授業づくりをしていけばよいのか、授業中の子供の言葉やどのようになかしていけばよいのかなど、教員の「授業力」を高める研究を重ねてきました。教師の力を高めることは、子供たちが「学ぶ楽しさ」「高まる喜び」を味わい、「主体的に学び続ける」ことにつながります。

保護者・地域の皆様にも、子供たちの学ぶ姿を通して研究の成果をお伝えする予定でしたが、感染予防のため公開を中止させていただくことになり、教職員一同、誠に残念に思っております。

この二年間の研究を通して、確実に全教員の「授業力」は向上しました。研究発表会は終わりましたが、この成果を生かして、これからは「主体的に学び続ける子供の育成」に励んでまいります。これからも練馬第二小学校の教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。